

# SA-DK2EU-R

## Mac版PDFガイド

2007年05月  
第1.0版

ラトックシステム株式会社

**RATOC Systems, Inc.**



本紙は、冊子マニュアルの抜粋です。

### 1 RATOC RAID MONITORのインストール

※管理を許可されていないユーザは使用できません。  
 ※RATOC RAID MONITOR(SteelVine Manager)は、Universal Binaryコードに対応していません。  
 このツールは、使用モードの表示、ディスク状態の表示、障害発生時のエラー表示およびメール通知、リビルド終了時のメール通知、リビルド終了時のPCシャットダウンを可能にするソフトウェアです。

RATOC RAID MONITOR.mpkgを弊社ホームページよりダウンロードし、インストールしてください。

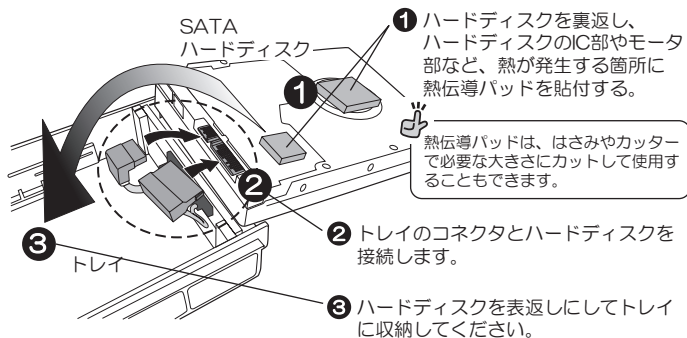
※SteelVine Managerは削除しないでください。

※RATOC RAID MONITORをインストールすると、SteelVine Managerもインストールされます。削除は、インストール先のRATOC RAID MONITORフォルダの中のuninstall-ratocraidmonitorを実行したときに、同時におこなわれます。

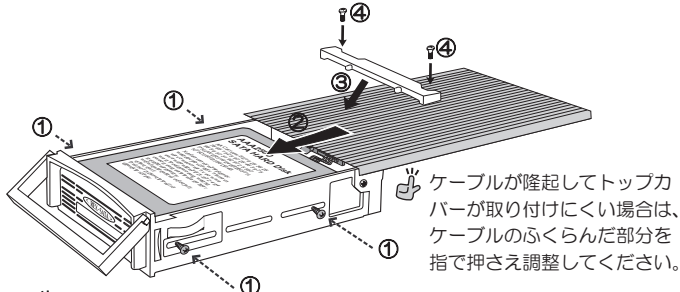


### 2 SATAハードディスクをトレイに取り付け

1. トレイにSATAハードディスクを装着します。



2. ハードディスクを同梱のネジでしっかりと止め、トップカバーを元の位置の戻し、カバーストッパーを再びネジ止めしてください。

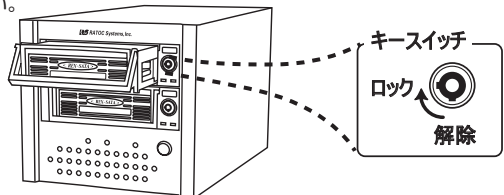


※ハードディスクがつかえて、トップカバーをスライドできない場合、ハードディスクを上から押さえつけ、ネジ止めを下の方向に調整してください。

#### 注意

トップカバー等でケーブルを挟むと、断線する恐れがありますのでご注意ください。

3. トレイをリムーバブルケースに挿し込み、キースイッチをロックしてください。



### 3 Macへの接続

eSATAケーブルもしくはUSBケーブル、ACケーブルを接続してください。Macの電源が入っている状態で接続しても問題ありません。

#### 注意

- eSATAとUSBを同時に接続(使用)することはできません。
- eSATAケーブル、USB2.0ケーブル、ACケーブルは添付のものを使用してください。
- 各ケーブルの接続は、コネクタの向きに注意して確実に接続してください。

### 4 本体電源の投入

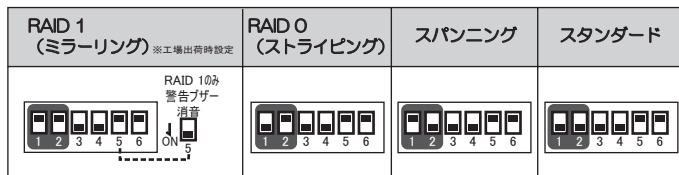


データが入ったハードディスクでRAID 1を構築したい方

本紙の<参考>「バックアップをつくる」を参照し、まずバックアップ作成後、本章の作業に入ってください。

#### I. 使用モードを変更する場合

1. DIPスイッチが、使用するモードに設定されているか確認してください。DIPスイッチは背面にあります。



DIPスイッチの1,2以外を操作した場合は、手順2.以降の操作は必要ありません。電源スイッチをONにしてください。

※DIPスイッチ1,2は、本体電源投入前に変更します。

使用モードに関わるスイッチで、ONにするだけでは設定が有効になりません。

※DIPスイッチ3,4,5,6は、本体電源投入後でも変更できます。

※DIPスイッチ1から6の動きについて 詳細は⇒付録「DIPスイッチ設定一覧」

※モード変更後、認識に時間がかかる場合があります。

※モード変更後、設定が有効にならない場合は、いったんスタンダードモードに変更し再度設定してください。

2. 使用するハードディスクを装着し、各キースイッチをロックしているか確認してください。

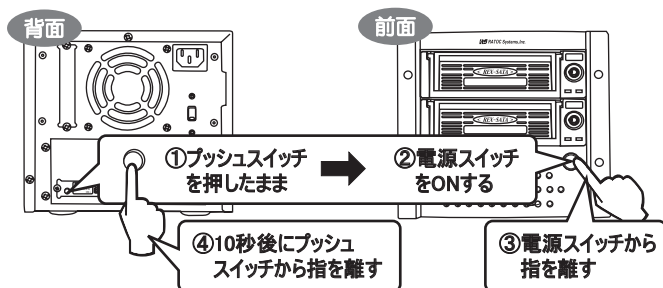
#### 注意

装着したハードディスクを以前と異なる使用モードに変更する場合、RAID 1からスタンダードへの変更以外、データは保全されません。

RAID 1からスタンダードへ変更	左記以外の変更※
そのまま使用可	フォーマット必要

※スタンダードへ変更した直後に、元の使用モードへ戻した場合は、そのまま使用できます。

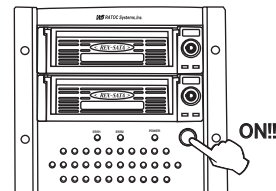
3. 次の手順でスイッチを操作します。



以上で、使用モードが変更されます。

#### II. 使用モードを変更しない場合

電源スイッチをONにしてください。



## 5 動作の確認

本製品が正しく認識し、指定の使用モードで動作しているか確認します。

### Mac OSで「読み取れないディスク」「初期化しますか？」などのメッセージが表示された場合

次の場合にメッセージが表示されますが、「無視」をクリックしてください。

1. ハードディスクがフォーマットされていない
2. Mac OSでは使用できない形式でフォーマットされている
3. Mac OS起動前に、USB接続した本製品の電源を投入した\*

① 初期化すると、Mac OS上で使用可能になりますが、ディスク上のデータはすべて消去されます。  
 ※ Mac接続で、OS起動時や再起動時に本製品の電源が入っている場合、本製品のコントローラが仮想SCSISTレージデバイスとして認識されるため、「セットしたディスクは、このコンピュータで読み取れないディスクでした」とエラー表示されます。



1. ケースの本体のPOWERランプ(緑色)、およびトレイ通電ランプが点灯(緑色)しているか確認してください。

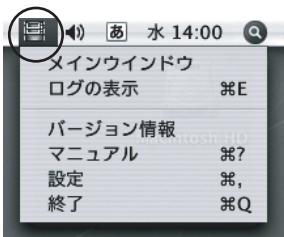
2. RATOC RAID MONITORで使用するモードを確認してください。

① ステータスバーのアイコンをクリックし、メインウィンドウを選択します。

※アイコンが見当たらない場合は、手動で起動してください。

#### 手動での起動方法

Finderのメニューバーから【移動】→【アプリケーション】→【RATOC RAID MONITOR】フォルダの中の【RATOC RAID MONITOR】を起動



② メインウィンドウが開きます。使用しているモードが表示されますので確認してください。

※使用モードの検出には若干時間がかかる場合があります。  
 ※未接続と表示されている場合は、【リスキャン】をクリックしてください。



3. OS標準のディスクユーティリティで、接続したハードディスクが表示されているか確認してください。

(RAID 1, RAID 0, スパニングの場合)

(スタンダードの場合)



※ハードディスクの型番・容量はお客様の環境によって異なります。  
 ※1,024.0KB Config Disk..は製品の仕様により必ず表示されます。(初期化は不要です。)

4. はじめて本製品を使用する場合、ハードディスクはフォーマットが必要です。OS標準のディスクユーティリティを使用してフォーマットしてください。

ただし、使用モードによっては、データが入ったハードディスクをそのまま使用することも可能です。

- RAID 1(ミラーリング)  
データが入ったディスクでRAID1を構築する手順をふんでいる場合
- スタンダード  
RAID 1からスタンダードに使用モードを変更したディスク、他機などで正常に使用していたディスクの場合

5. “デスクトップ”に、新しいハードディスクのアイコンが表示されているか確認してください。 ※接続方法によってアイコンの表示が若干違います。



- ボリューム名は、お客様の環境により異なります。
- 未フォーマットのハードディスクを装着された場合は、上記のアイコンは表示されません。

以上で動作確認は完了です。

「Mac OS使用中にトレイを交換/製品を取り外す」をお読みになった上で、本製品をお使いください。

## 6 Mac使用中にトレイを交換/製品を取り外す

### 警告

交換/取り外し作業を行う際は、必ず手順に従ってください。異なる手順で無理に交換/取り外しを行うと、ハードディスクの破損、または記録データが損失する場合があります。

### 注意

- トレイ取り外し時、トレイ取り外し用ハンドルのハンドル部分のみを持って持ち運びをしないでください。トレイが落下する恐れがあります。
- 下段トレイのトレイ取り外しハンドルが前に引きづらいため、下向きに力が加わらないよう手前に軽く引いてください。

### 警告「取り出しエラーについて」

右記メッセージが表示された場合は、トレイの取り外しが出来ません。他のアプリケーション、システム等が該当ドライブを使用している可能性があります。しばらく時間が経ってから、もう一度取り外しを行ってください。  
 ウイルス対策ソフトウェアなど、ディスク監視を行うソフトウェアが該当ドライブを使用している場合は、ソフトウェアを終了してください。



Macの電源ONのまま、トレイの交換/製品の取り出しができます。

※Macの電源OFF時は、トレイの交換/製品の取り外しを自由におこなうことができます。

### I. すべてのモード共通

トレイの交換/製品の取り外しは下記Ⅱの方法以外、電源スイッチOFFが必要です。

1. 本製品に装着しているディスクのアイコンを、ゴミ箱へ捨ててください。  
 ※アイコンは接続方法により異なります。

▲ スタンダードモード使用時で電源スイッチOFFの際は、注意 上下段のアイコン両方ともゴミ箱へ捨ててください。



2. 電源スイッチをOFFにし、トレイの交換、または製品の取り外しをおこなってください。  
 ※トレイの交換後、製品の取り付け後、電源スイッチをONすると再びドライブが表示されます。

### Ⅱ. スタンダードモード(eSATA接続時のみ) ※取り外すトレイ指定可

1. 交換したいディスクのアイコンを、ゴミ箱へ捨ててください。  
 ※アイコンは接続方法により異なります。
2. トレイのキースイッチをOFFにし、トレイの交換をおこなってください。  
 ※トレイの交換後キースイッチを“ロック”することにより、再びドライブが表示されます。

## 7 RATOC RAID MONITORについて

RATOC RAID MONITORには、次のような設定があります。

メール通知するには、RATOC RAID MONITORの起動が必須です。

- ・ステータス異常時にメールで通知する(初期設定OFF)
- ・リビルド終了時にメールで通知する(初期設定OFF)
- ・システム起動時に監視を開始する(初期設定ON)
- ・ログを記録する(初期設定OFF)
- ・ステータス異常時にアラートパネルを表示する(初期設定ON)
- ・リビルド終了時にMacをシャットダウンする(初期設定OFF)  
 ※この設定は、今回のリビルドが終了すると、設定がOFFに戻ります。次回のリビルド時にもシャットダウンをしたいときは再度ONにしてください。  
 ※設定をONにするには、マイアカウントのパスワードが必要です。  
 ※SA-DK2EU-R本体の電源は切れません。

### <参考>バックアップをつくる

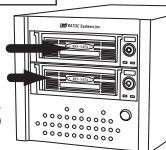
※はじめて本製品を導入する際、データの入ったディスクでRAID 1を構築したい方むけに説明します。  
 ※「[図15-8](#)「裏技! REX-SATAシリーズのコピーマシンとして使う」から抜粋して紹介しています。

1. 本製品はACケーブルだけ接続します。(Macとの接続ケーブルは抜く)  
 ※またMacに接続していませんので、スタンドアロンで使用します。
2. DIPスイッチ3をOFFに変更してください。  
 ※リビルド後にペリファイをおこなう場合は、DIPスイッチ4をOFFにして(上)にあげてください。



3. 上段にデータの入ったハードディスクを、下段にバックアップディスクを装着しキースイッチをONにしてください。

①データの入ったHD  
 ②バックアップディスク  
 ※上段と下段を間違えるとデータが消えるので注意!



4. 本体の電源スイッチをONしてください。  
 バックアップ作成(リビルド)が開始されます。  
 ※下段のトレイ通電ランプが緑色に点滅(暗→明)します。  
 ※リビルドは250GBで約1.5時間かかります。  
 ※リビルド終了後、DIPスイッチは元に戻してください。

### 注意: 電源ON後、警告ブザーが鳴る場合 (ERR2も点灯)

バックアップディスクが、マスターディスクより容量が小さいのが原因です。リビルドは開始されません。容量の大きなディスクに変えてもブザーが止まらない場合は、ディスクの破損が考えられます。  
 ※この警告ブザーは、本体の電源スイッチONから約1分後に鳴ります。すぐには鳴りません。